

スローライフだより 51

~Think globally, act locally~

第51号
特定非営利活動法人
スローライフ宮崎

〒880-2114 宮崎市大字富吉793番地1
TEL/FAX 0985-62-4233
<http://www.slow-life.or.jp>



5月15日(月)
生目小5年生
学習田の田植えを晴天の中
行いました！！



行事報告

4月
5月

- 27日 生目の杜運動公園円形プロムナード花壇植栽 マリーゴールド・サルビア・センニチコウ
- 1日 宮崎西小学校田植え前授業
- 8日 生目小学校田植え前授業
- 10日 宮崎西小学校学習田田植え
- 11日 生目の杜運動公園はんぴドーム(植木鉢)植栽 マリーゴールド・サルビア・インパチェンス
- 15日 生目小学校学習田田植え
- 19日 監査会(平成28年度分決算書 事業報告書)・第1回役員会
- 26日 スローライフ宮崎第14回通常総会



第14回 スローライフ宮崎通常総会



5月26日(金)に下富吉公民館において、第14回通常総会が行われました。出席者43名(うち委任状出席者6名)でした。議長に広川欣也氏を選出し議事を進行しました。和やかな雰囲気の中滞りなく終了することができました。ご協力ありがとうございました。

- 第1号議案 平成28年度事業報告・収支決算書・貸借対照表・財産目録の承認について
- 第2号議案 平成29年度入会金・年会費承認について
- 第3号議案 平成29年度事業計画書(案)及び収支予算書(案)について
- 第4号議案 定款変更について
- 第5号議案 役員選任について



新役員が決まりました！

- | | | | | | |
|------|---------|-----|----|-------|-----|
| 理事長 | 長谷川五一 | (再) | 理事 | 森 武美 | (再) |
| 副理事長 | 横山 森雄 | (再) | 〃 | 谷口 直 | (新) |
| | 〃 谷口 守 | (再) | 〃 | 川越 正紘 | (新) |
| 理事 | 日高ゆかり | (再) | 監事 | 田尻 洋紀 | (再) |
| | 〃 加藤 由明 | (再) | 〃 | 長嶺 林 | (新) |
| | 〃 木下 和代 | (再) | | | |

以上の通り理事長1名、副理事長2名、理事6名、監事2名が決定致しました。これから2年間このメンバーで運営にあたりたいと思います。どうぞ宜しくお願い致します。



日向かぼちゃ礼賛

「旅」と「酒」から



渡辺 綱纜

「日向かぼちゃのよか嫁女。じゃがじゃがまこちえれこっちゃ」。宮崎県民に親しまれている民謡“いもがらぼくと”にも歌われている日向かぼちゃ。黒皮かぼちゃとも呼ばれているが、まさに宮崎の顔である。この日向かぼちゃを、昭和の時代を通じて徹頭徹尾、宣伝し、語り続けてくれた先人二人のお話を、今日はぜひ紹介したいと思う。

お一人は、戸塚文子さん。雑誌「旅。」の編集長である。もう一人は、佐々木文子さん。雑誌「酒」の編集長であり、経営者でもある。旅と酒を語る時、このお二人を除くことはできない。昭和の全時代を通じて、超有名人であり、マスコミ界の寵児であった。このお二人と、宮崎のことで共通するのは、どちらも、日向かぼちゃを絶賛していたということである。

まず、戸塚文子さん。東京で初めてお会いした時に、「ぜひ宮崎にいらっしやい」とご挨拶したら、「ええ、日向かぼちゃを食べに行きたいわ」であった。その戸塚文子さんを宮崎にお迎えしたのは、忘れもしない、1963年（昭和38年）の7月11日のことだった。全日空の東京ー宮崎直行便が、初めて就航したその第1便でやって来た。その夜のことである。宮崎観光の父、岩切章太郎宮交社長の招宴が催されたが、郷土料理の鯉のいり酒、旭がに、冷や汁の最後に出された可愛い日向かぼちゃの姿煮に、戸塚さんの目がキラキラ輝いた。そして、得意の「かぼちゃ談議」が始まり、戸塚さんの口から“日本一”の声が何度も飛び出した。



「旅」の戸塚文子さん

続いて、佐々木久子さん。佐々木さんが宮崎日日新聞の月曜随想（1979年）に書いたエッセイを読んだことがある。宮崎の焼酎のさかなには、日向かぼちゃが絶品である。宮崎に来て不思議なことは、この絶品になかなかめぐり逢わないことである。なぜ、堂々とかぼちゃを出して下さらないのであろうかー 佐々木久子さんの持論は、かねてから宮崎の酒のさかなは、日向かぼちゃに勝るものはないということだった。特に生目産のかぼちゃを絶賛していた。旅行者は、酒のさかなに日向かぼちゃが出ることを期待しているのに、土地の人が遠慮して、それを出さないのが、大いに不満であったことがうかがえる。



「酒」の佐々木久子さん

宮崎の食文化の大功労者である、森松平さん（郷土料理杉の子社長）は、生前、日向かぼちゃの特長には三つあると、説いていた。一つは肉質が粘質で、ねっとりとした味わいがあり、煮くずれしにくい。二つ目は中身の黄色、外皮の緑色がさえて、色合いに優れていること。三つ目が食味がほど良い甘さで、料理する人が腕を振るやすいことである。森さんは、日向かぼちゃは、作り手の心が伝わる食材と語っていた。まさに大ベテランの至言である。私達は、戸塚文子さん、佐々木久子さんの日向かぼちゃへの熱い心を忘れてはならないと思う。そして、森松平さんの愛情あふれる料理の心を、これからずっと伝えていかなければと思う。

最後に訴えたいことがある。生目の黒皮かぼちゃの生産者が減って、今残っているのは、わずかに8戸であるという。農業に生きる宮崎県の顔であり、明治、大正の昔から品種改良を重ねて、今日の伝統野菜となった日向黒皮かぼちゃが、いま生目で存亡の危機に直面している。行政はもちろんであるが、全県民が一体となって、守っていかねばならぬ。そうすることが、戸塚さん、佐々木さん、森さん方の「心」に応えることになるのではなかろうか。そのことを、声を大にして訴えてこの稿のまとめとしたい。





生目小学校5年生 学習田 田植え事業



5月8日に田植え前授業を行いました。
苗の植え方や生目の農業の事などをお話しました。



5月15日(月) 田植え当日です。
田植え紐を使い、植えて行きました。



広い田んぼなので、植える本数も多く
1時間30分ほどの田植えになりました。



体操服が泥だらけになるほど、一生懸命
腰をかがめて植えていきました。



宮崎西小学校5年生 学習田 田植え事業



今年度も大塚台まちづくり委員会を通じて、
宮崎西小の学習田事業の業務委託を頂きました。



5月10日(水) に田植えを行いました。
曇空でしたが良い田植え日和になりました。



掛け声をかけて一斉に植えていきました。
テンポよく田植えができました。



美味しいお米がたくさん出来るように
心をこめて植えました。

生目の杜運動公園円形プロムナード



4月末に円形花壇にサルビア等を植栽しました。



南駐車場南側(柏原側)出入口近くの花壇に初めて、ひまわりの種を蒔きました。

はんびドーム周りの植木鉢にも植栽しました。

5月24日の円形花壇です。水かけ、雑草取りなどをしてきれいな花壇を保つように管理しています。

8月～10月の予定

8月 下旬	生目の杜運動公園円形プロムナード・はんびドーム花壇植栽
9月 中旬	生目小・宮崎西小学校学習田稲刈り
9月 下旬	生目小学校昼食会及び生目社会福祉協議会へのお米の贈呈式
10月 10日	めがね供養祭
10月 下旬	生目の杜運動公園周辺ボランティア清掃

委託業務関係

8月～10月	駐車場料金徴収員会議	スローライフ事務所
毎月第1火曜日	花壇管理者会議	スローライフ事務所
毎月第2火曜日	土、日、祝日、キャンプ期間中	駐車場料金収納・送迎車両受付
※ 駐 車 場		(10:00～18:00)
※ 花 壇 管 理	随 時	

お便り大募集！ 52号(10月発行予定)、53号(1月発行予定)

スローライフ宮崎では、皆さんからのお便りや、こんな企画があったらいいなという声を募集しています。また、写真(返却いたします)も大歓迎！！お葉書やFAXをお待ちしています。(TEL/FAX 0985-62-4233)



編集後記



前号スローライフだより50号の2Pコラム欄の金子みすずの詩「積もった雪」で校正ミスがありました。正しくは「つめたい月」です。最初に印刷し送付した分には「つめたい雪」とあり3名の方から連絡がありました。言いにくいことをサラッと即連絡してくれる関係は私にとって「信頼できる人であり私の財産」だと思っています。ありがとうございました。今回は渡辺つなともさんに「生目のかぼちゃ」にまつわるエピソードを書いていただきました。このままではまた一つ宮崎の伝統野菜(食文化)が潰れてしまいます。さびしい事です。

(長谷川)